資料３５

男女共同参画計画各施策案に係る本部員からの意見（Ｒ３年１０月）

※「⇒」部分は、意見に対する対応

①　「性別」と「性差」の言葉の選択に一部不統一が見られる。
（例：「性別による偏り」⇔「性差による偏り」、
「性別による固定観念」⇔「性差による固定観念」）

⇒　最終稿までに事務局で精査して修正

②　特に下記の成果目標において、値が低いのでは。
基本目標１　男女共同参画センターの認知度／センターの利用者数
基本目標３　課長相当職の女性の割合

⇒　センターの認知度は、審議会事務局において上方修正。当該数値も含め、次回審議会で目標数値の妥当性を検討

③　具体的施策に「啓発」又は「情報提供」が多いため、計画推進の成果が確認しづらい。計画の進捗管理（体制）について「基本目標７」の中で明記しては。

⇒　計画の第１部中、１の(４)の２つ目に推進方法を記載

④　基本目標１基本施策２「学校等における教育の推進」の中で、「児童」には「就学前児童」が含まれると解してよいか。

⇒　「児童生徒等」の「等」に含ませている。「児童生徒等」と「児童生徒」の使い分けの統一について、最終稿までに事務局で精査して修正

⑤　基本目標２基本施策１の「性別に関わらない、仕事と子育て・介護との両立支援の促進」中に、従前から取り組んできた保育環境等の整備等についての記載をした方がよいのでは。

⇒　次回審議会で追記を検討　（追記案別紙のとおり）

⑥　審議会の検討では、今後新たに又は重点的に取り組むべきものを中心に取り上げ、現計画の定番的に継続される事業は本体に記載省略の予定で、メリハリをつけた計画案となるよう意図しているとのこと。新しい施策は大事だが、啓発を含むこういった分野の施策は、定番的なものを何年も繰り返し粘り強く取り組むことが特に重要と考える。

⇒　現計画からの継続事業で次期計画案に記載のないものは、次期計画末尾に、継続事業一覧として記載予定

資料３５

⑦　理念部分である施策が実現されるよう、具体的な施策と合わせてPDCAサイクルがしっかり回るような方法の検討が必要。

⇒　計画の第１部中、１の(４)の２つ目に推進方法を記載

⑧　「ジェンダー」「ジェンダー平等」など、わからない人でも理解できるように、丁寧な注釈・説明を付けた方がよい。

⇒　新しい用語も含め、本文中の用語に＊を付し、できるだけ丁寧な用語解説を末尾に添付予定